


## 新産業への参入を図りたい

### (公財)長野県テクノ財団

(公財)長野県テクノ財団は、技術革新による地域産業の高度化と新産業創出を促進し、もって地域経済の活性化と自立化に寄与することを目的とした機関です。


新産業の創出に向けて、技術開発・研究開発・人材育成等をサポートします。

(※以下は事業の一例です)

主管	名称	内容
本部	航空機部品品質保証力等強化事業	航空機産業人材の育成や航空機産業に関する工場内の体制整備に関する県内外で開催される講習会へ県内事業者の従業員が参加する費用などを補助します。
	コンソーシアム活用型ITビジネス創出支援事業	IT事業者とユーザ事業者、信州ITバレー推進協議会構成員などで構成された開発チームが行う様々な分野における新しい業務の手法や活動の実現を目指すシステム開発の費用などを補助します。
	次世代パワーエレクトロニクス研究会	SiC や GaN など、ワイドバンドギャップ(WBG)半導体を用いた次世代パワーデバイス・モジュールは、これからの省エネ技術として非常に重要です。このため、この技術の県内企業における理解を深め、技術の応用、拡大を図ります。 
	ゼロカーボン技術開発促進事業	2050年度までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする目標実現に向け、持続可能な脱炭素社会づくりを推進するため、県内ものづくり企業による新たなゼロカーボン関連技術の開発を促進します。
	グローバル展開実践カレッジ	海外における学会や展示会を想定した技術者等のプレゼンテーション能力など、実践的な英語コミュニケーション力を高めるための人材養成講座を実施します。
善光寺バレー地域センター	新たな金属積層造形技術研究会	金属3Dプリンターによる金属積層造形技術は今後も成長が期待される技術です。その技術動向や課題を紹介する研究会を実施し、地域企業の製品開発を支援します。
	ながの地域「水素エネルギー技術研究会」	成長期待分野である水素エネルギー関連ビジネスへの地域企業の参入を目指して、技術課題の探索や技術シーズの紹介等を行う研究会を実施します。
	善バレ・ハイテクセミナー	成長期待分野の最新の技術動向を紹介するテーマと研究開発型企業への転換支援を目的としたマネジメントに役立つテーマでセミナーを実施します。
浅間テクノボリス地域センター	“浅テク・ハイテクセミナー”シリーズ	新技術・新製品開発に向けて、今後成長が期待される分野の先端技術の動向や経営戦略をテーマとしたセミナーを実施します。
	感性応用計測研究会	「使いやすさ」、「心地よさ」といった感性をものづくりに取り入れ、感性の数値化及び分析評価を行い、製品開発、デザイン、マーケティングに生かすための調査・研究を行います。
	若手技術者養成講座&専門研究会	機械加工技術、IoT制御技術について基礎知識からの講座を実施して、若手技術者育成支援するとともに、研究会への展開を目指します。

主 管	名 称	内 容
アルプス ハイランド 地域センター	大学・高専・企業との 産学官連携交流事業	成長期待分野に参入していくための「産」と「学」のマッチングの場となる産学官連携交流会を開催します。
	旬の技術研究会事業	大学、先進企業等の持つ新規性のある最新技術シーズ及び商品・事業化事例等をタイミングよく講演会や見学会の形で提供します。
	「価値作り力」パワーアップ講座事業	ユーザー視点に立ち、本質的なユーザー課題の発見、アイデア探索から、解決策を具現化するための試作・検証を通じて最終形に作り込むデザイン思考の考え方・手法を学ぶ講座を開催します。
諏訪テクノ レイクサイド 地域センター	環境・エネルギー技術研究 開発事業	諏訪圏の地域環境の特性を理解し、それを生かした再生可能エネルギーの創出、安全・安心な街づくりに寄与する環境技術の研究を実施します。
	材料研究開発事業	超微細粒鋼やコバルトクロム合金など優れた特性を持つ材料の産業化、実用化のための材料研究を実施します。
	新商品開発・製品サービス 研究会	新しい価値を創造するための新商品開発のポイントを三つの切り口で学び、かつ有効な商品開発アプローチ・手法を習得します。
伊那テクノ バレー 地域センター	スマート看護・福祉研究会	新たなリハビリテーション用の器具等の製品を迅速・安価に供給するシステムを確立し、ADL（日常生活動作）支援のための器具等の供給ビジネスを地域産業として創出することを目指します。
	信州機能性食品開発 研究会	大学や企業の機能性食品に係る研究動向や新たな技術シーズ、最新の機能性食品の開発事例等を紹介することで、県内企業の機能性食品開発の活性化を図ります。

国際的な技術・産業シーズやニーズの調査、海外の研究機関等との共同研究等をコーディネートします。

事 業	内 容
国際連携ネットワーク強化事業	<p>これまでの交流を通じて友好関係にある Wiintech<sup>※</sup>やベトナム国家大学ホーチミン校の ICDREC（集積回路設計研究教育センター）などとの連携を継続し、射出成形・金型技術、IC 設計技術に係る具体的な事業活動や県内の学術機関・企業との共同研究等のアフターコロナへ向けた IoT を活用した連携活動、交流を促進します。</p> <p>※ Wiintech（ウィンテック） EU からの資金援助を受け、2011 年にドイツ、オーストリア、スペイン、フランス、ポルトガル、イギリス、イタリアの 7 カ国、8 つの産業支援機関で結成されたネットワーク</p> 
国際ビジネス調査・交流事業	長野県食品製造業振興ビジョンの重点プログラムに基づき、オランダなどのグローバルな規模での食のニーズ探索や加工・製造技術の調査、研究機関等との共同研究・開発のコーディネート活動を行い、ビジネスとして展開できる新たな食品開発やエビデンス取得などフードバレー構築準備を支援します。

環境負荷低減等に向けた革新的材料技術活用促進事業は30ページ、信州医療機器事業化開発センター事業は32ページ、信州ITバレー構想推進事業は36ページをご覧ください。

お問い合わせ先

（公財）長野県テクノ財団

〒380-0928 長野県長野市若里1-18-1 長野県工業技術総合センター3階

TEL：026-226-8101 FAX：026-226-8838

E-mail：techno@tech.or.jp

URL：https://www.tech.or.jp/

# 長野県と信州大学が文科省の公募事業に共同提案し、採択された大型研究開発プロジェクト 地域発の優れた研究開発資源を活かした新事業・新産業の創出

◆地域イノベーション・エコシステム形成プログラム（期間：平成 29～令和 3 年度）  
 （拠点名：革新的無機結晶材料技術の産業実装による信州型地域イノベーション・エコシステム）  
 信州大学のコア技術「フラックス法による結晶育成技術」を活かし、重金属を高性能に除去する材料や人工関節を長寿命化する材料、リチウムイオン電池を高性能化する材料等の研究開発・事業化を目指します。

### 【フラックス法について】

- ・フラックス法は溶媒（＝フラックス）を用いた単結晶の育成法。溶媒の選択等の工夫で様々な機能を有する材料を創出できる。
- ・信州大学は、フラックス法に係る引合いが年間 100 件程度寄せられる同技術の中核研究拠点

### フラックス法による結晶の育成

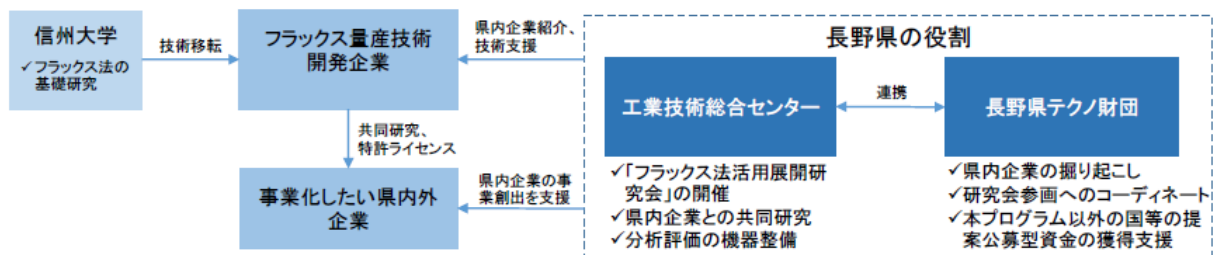


### 【事業化を目指す研究開発プロジェクト】

分野	事業化プロジェクト名	内容
水処理	重金属吸着剤による浄水器の商用化	飲料水などに含まれる様々な重金属（鉛、Cd など）をフラックス結晶が除去し安全な水を提供
生体適合性材料	高機能・高耐久性人工関節・脊椎椎体スペーサの開発	フラックス結晶と骨との親和性を利用し長期間使用可能な医療機器を実現
電子材料	リチウムイオン二次電池材料の開発・事業化	電池材料にフラックス結晶を利用し、高速充放電・長期使用・小型高容量なリチウムイオン電池を実現

長野県は、（公財）長野県テクノ財団と連携し、フラックス法活用展開の研究会を設置して県内企業によるフラックス結晶育成技術を活かした研究開発プロジェクトの創出、事業化を後押しします。

### 県内産業の活性化に繋げる仕組み



### ◆環境負荷低減等に向けた革新的材料技術活用促進事業

本取組の一環として、長野県と（公財）長野県テクノ財団では、大学等の材料技術と県内企業の皆様の加工技術等をマッチング、環境負荷低減や競争力強化に資する研究開発プロジェクトを創出・推進します。

### 【事業スキーム】

